

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	中原区第2グループ(住吉・井田)	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H29		H30		H29		H30		
	1 住吉こども文化センター ①年間延べ利用者数	30,767人	29,592人	②年間延べ利用団体数	187団体	156団体			
2 住吉小学校わくわくプラザ ①登録者数	259人	246人	②年間延べ利用者数	16,965人	16,417人				
3 東住吉小学校わくわくプラザ ①登録者数	264人	312人	②年間延べ利用者数	17,330人	33,221人				
4 今井小学校わくわくプラザ ①登録者数	458人	479人	②年間延べ利用者数	30,647人	30,344人				
1 井田こども文化センター ①年間延べ利用者数	38,558人	36,905人	②年間延べ利用団体数	149団体	164団体				
2 井田小学校わくわくプラザ ①登録者数	397人	416人	②年間延べ利用者数	25,836人	28,895人				
3 下小田中小学校わくわくプラザ ①登録者数	463人	487人	②年間延べ利用者数	22,912人	24,227人				
収支実績	単位:円								
1 収入 指定管理料	120,090,969								
2 支出 人件費	107,210,489								
管理費	7,450,108								
事務経費	5,346,249								
その他経費	7,080,689								
合計	127,087,535								
3 差引	-6,996,566								
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区の行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。								

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	3	6
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・第1・2グループ合同事業として、川崎市橘高等学校と連携し、「橘高等学校吹奏楽部コンサート」を実施した。受け入れ体制を柔軟にしたことにより、昨年に比べ小学生は2.3倍、幼児は2倍の参加増となった。また、お手玉やわなげをゲームラリー方式で行う「新春むかし遊びゲームラリー」などを実施した。 ・住吉こども文化センターでは、運営協議会と共催ですみよしこども文化センター祭を開催し、バルーンアートや地域ボランティアのけん玉ダンスなどの出し物をおして、多くの参加者が交流した。住吉中学校の敷地内を借りて駐輪場とするなどの工夫により、1,405人の参加があった。 ・井田こども文化センターでは、新たな取組として将棋教室を16回実施した。合計120人の参加があり、この行事をきっかけに中学生の参加が増えるとともに、幼児から保護者まで幅広い年齢層の交流に繋がった。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用者ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	3	6
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
<ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通じて、利用者ニーズ把握に努め、購入図書を選定等に利用者意見を反映しているとともに、苦情等への対応が適切に行われている。井田こども文化センターでは、ドッジボール大会等、人気行事と子ども運営会議を同じ日に設定し、より多くの子ども達が意見交換出来る機会を設けている。また、保護者より、「兄弟を連れて乳幼児行事の参加は難しい」との相談があり、地域ボランティアに協力してもらい、月齢に合わせて遊具を用意するなど工夫し、対象年齢を上げたことにより、乳幼児対象行事の参加者が2倍近く増加した。 特別な配慮を要する児童への対応として、個別連絡ノートによる保護者との情報共有を行うとともに、小学校や児童コーディネーター等と連携しているほか、「特別な支援を必要とする児童への対応研修」や「不登校児研修」を受講し、スタッフ間で共通理解を深めるなどの取組をしている。具体例として、わくわくプラザで視覚情報カードを作成して円滑なコミュニケーションを取れるようにしたり、不登校傾向の生徒に寄り添って、登校に結び付けるなど、児童の処遇向上が図られた。 学校及び行政機関との連携について、事業を推進する上で、学校及び行政機関・地域団体等と連携した取組がなされている。 施設・事業の広報について、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて積極的な広報を行っているとともに、特に、井田こども文化センターでは、中高生だよりを年2回発行するなど、対象年齢を捉えた広報を行っている。また、住吉こども文化センターでは、乳幼児の保護者が持ち帰りやすいようチラシを小さな冊子型にするなどの工夫をしている。 井田こども文化センターでは「うきうきフェスタ」等運営協議会共催行事の開催に向けて、運営協議会を年4回実施するとともに、協議会の他にも打ち合わせを複数回実施した。 保護者懇談会について、懇談会が事業計画どおりに開催されている。 					

組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8	
	職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。				
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>・適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。</p> <p>・職員の研修体制については、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しているほか、研修資料やレポートをファイル等に一元化して管理し、職員が閲覧できる等、共有化の仕組み作りができています。さらに、中原第1・第2グループで行った「遊びの研修」では、すぐに実践できるプログラムと職員がリフレッシュできるメニューを中心にを行い、職員全員でダンスの復習をするなど、研修で習得したステップダンス等の知識スキルを共有し、わくわくタイムですぐに実践することが出来た。</p> <p>・個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また、個人情報の漏洩の事実はなかった。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	4	4
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
		災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。			
<p>・施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は、適宜工事等実施している。井田小学校わくわくプラザでは、トイレの引き戸開閉時に指を挟む危険性があるため、ドアストッパーアクションを設置した。</p> <p>・利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行っているとともに、住吉こども文化センター及び管轄わくわくプラザでは「AED及び応急手当研修」、井田こども文化センター及び管轄わくわくプラザでは「不審者対応研修」をそれぞれ実施し、職員一人一人が緊急時の対応について適切な対応がとれるよう意識づけされている。館の職員会議や3施設合同のスタッフ会議で各区の事故一覧で気になるところを館長が読み上げ、対応策や原因を考え発表してもらいながら事例検討を行った。事例検討について摘録をまとめ、全職員と共有している。</p> <p>・防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。</p>					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
<p>・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。</p> <p>・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>市内20グループのこども文化センター及びわくわくプラザの指定管理を行うスケールメリットを活かし、効率的・効果的な事業運営を行っている他、全館・全区合同事業の実施、経験や役割に応じた計画的な研修実施によって職員の資質向上を図り、また研修内容・事故状況等の情報を全館で共有するなどにより、安定的で良質なサービス提供を行っている。</p> <p>また、利用者の声をよく聴き、運営の改善に活かすとともに、衛生管理、事故の防止や対応等利用者の安全確保に向けて取り組んでいる。「橘高校吹奏楽コンサート」、「サロン・DE・ベイビー」「あっぷるタイム」など、地域との連携による行事やテーマ性を持った行事を実施している。施設の広報においては、乳幼児から高校生まで幅広い利用者を対象にたよりを発行しているだけでなく、中原区発行の情報誌への行事の掲載や中学校への配布も行って、利用者の増加に努めている。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子どもの顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。また、学校及び行政機関、地域の団体等の連携については、新たな主体との連携に取り組んだり、地域課題を共有しながら効果のある取組を積極的に行うことが望ましい。</p>
